



ファームウェアバージョン:	V1.21.B006	
Prom バージョン:	V1.00.B003	
ハードウェアバージョン:	DES-3200-10	A1
	DES-3200-18	A1
	DES-3200-28	A1
	DES-3200-28F	A1
発行日:	2010/06/18	

本リリースノートには、D-Link 製スイッチのファームウェア更新に関する重要な情報が含まれています。ご使用のスイッチに対応するリリースノートであることを確認してください。

- 新しいスイッチにインストールを行う際には、デバイス上のハードウェアバージョンの表示を確認し、ご使用のスイッチがファームウェアのシステム要件を満たしていることを確認してください。ファームウェアとハードウェアの互換性についての詳細情報は、“変更履歴とシステム要件”の項を参照してください。
- 新しくリリースされたファームウェアへのアップグレードを行う場合は、“アップグレード手順”の項を参照しながら正しい手順でファームウェアのアップグレードを行ってください。

スイッチ本体に関する詳細な情報が必要な場合は“ユーザマニュアル”を参照してください。

目次:

変更履歴とシステム要件:	2
アップグレード手順:	2
CLI(シリアルポート)を使用するアップグレード	2
Web-UIを使用するアップグレード	5
追加機能:	8
MIBおよびD-Viewモジュールの変更点:	8
コマンドラインインタフェースの変更点:	9
修正した問題点:	9
既知の問題:	9

変更履歴とシステム要件:

ファームウェアバージョン	リリース日付	モデル	ハードウェアバージョン
ランタイム: v1.21.B006 Prom コード: v1.00.B003	2010/06/18	DES-3200-10	A1
		DES-3200-18	A1
		DES-3200-28	A1
		DES-3200-28F	A1

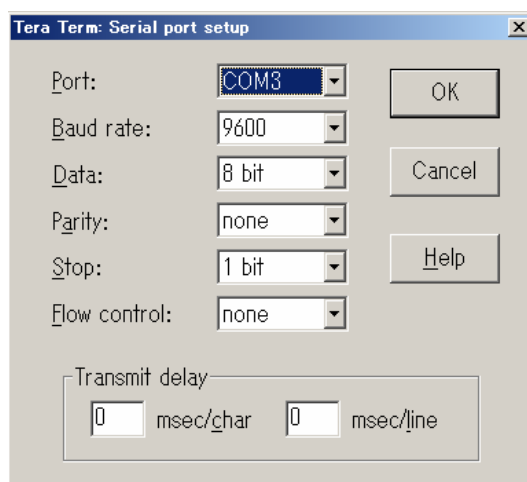
アップグレード手順:

アップグレードを行うには、[CLI\(シリアルポート\)](#)、もしくは[Web-UI](#)を使用してファームウェアのアップデートを行うことができます。

CLI(シリアルポート)を使用するアップグレード

1. スイッチの電源を切り、RS-232 シリアルポート(コンソールポート)で PC と接続し、ターミナルソフトウェアを起動します。ターミナルソフトウェアの設定は下記の通りです。(本手順書ではターミナルソフトウェアは Tera Term を使用しています。)

- ボーレート: **9600**
- データビット: **8**
- パリティ: **none**
- ストップビット: **1**
- フロー制御: **none**



2. VT-100 のエミュレーションが可能な端末エミュレーションプログラムが起動していて、かつシリアルポートに上記設定を施した PC と、本スイッチのシリアルポートを RS-232 DB-9 ケーブルで接続します。
3. 接続が正常に行われると、ユーザ名とパスワードの入力を求められますが、管理者のユーザ名及びパスワードは、初期状態では登録されていないので、何も入力せずに「enter」キーを 2 回押し、ログインします。
4. ログイン後は下記のコマンドを使用し、ファームウェアのアップデートを行います。

コマンド	説明
download [firmware_fromTFTP <ipaddr> <path_filename 64> {image_id <int 1-2>}]	スイッチにファームウェアをダウンロードします。
config firmware image_id <1-2> [delete boot_up]	Boot up イメージファイルの変更をします。
show firmware information	現在のブートイメージと設定ファイル名を表示します。
reboot	スイッチをリブートします。

※ CLI コマンドの詳細は CLI マニュアルを参照下さい。

次ページの例を参考にファームウェアのアップデートを行ってください。

例:

1.ファームウェアを本製品にダウンロードします。

DES-3200-10:4#download firmware_fromTFTP 10.90.90.91 DES-3200_Series_FW_R121B006.had image_id 2

Command: download firmware_fromTFTP 10.90.90.91 DES-3200_Series_FW_R121B006.had image_id 2

Connecting to server..... Done.

Download firmware..... Done. Do not power off !!

Please wait, programming flash..... Done.

Success.

2.ダウンロードしたファームウェアをブートアップ時に使用するファイルとして設定します。

DES-3200-10:4#config firmware image_id 2 boot_up

Command: config firmware image_id 2 boot_up

Success.

3.ダウンロードし、ブートアップ時に起動するファイルとして設定が正常にされているか確認します。

DES-3200-10:4#show firmware information

Command: show firmware information

Image ID : 1

Version : 1.10.B017

Size : 3661644 Bytes

Update Time: 0000/00/00 00:04:04

From : 192.168.2.201

User : Anonymous(CONSOLE)

Image ID : 2(Boot up firmware)

Version : 1.21.B006

Size : 3939564 Bytes

Update Time: 0000/00/00 01:25:25

From : 10.90.90.91

User : Anonymous(CONSOLE)

4.ファイルが正常に設定されているのを確認し、スイッチをリブートします。

DES-3200-10:4#reboot

Command: reboot

Are you sure you want to proceed with the system reboot?(y/n)

Please wait, the switch is rebooting...

Boot Procedure

V1.00.B003

Power On Self Test 100%

MAC Address : 00-22-B0-49-E9-D0

H/W Version : A1

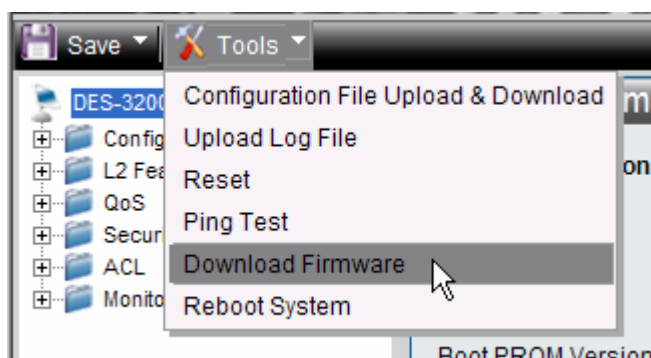
Please wait, loading V1.21.B006 Runtime image 100%

注意:スイッチの再起動中に、電源を切らないでください。再起動中に電源を切ると、起動に失敗し、起動できなくなることがあります。故障の原因となりますので、ご注意ください。

リブート終了後に、“show switch”コマンドを実行して、新しいファームウェアに更新されているかを確認してください。

Web-UIを使用するアップグレード

1. Java SE runtime environment をダウンロードして、お客様の PC にインストールします。
2. システムの IP アドレスを指定してスイッチにアクセスします。デフォルトのシステム IP アドレスは 10.90.90.90 です。
3. PC 上で TFTP サーバを有効にします。(必ず TFTP サーバをご使用の PC にインストールを行っておいてください。)
4. お客様の PC から RJ45 ネットワークケーブル経由でスイッチにアクセスできることを確認し、Web 管理画面からログインしてください。管理者のユーザ名とパスワードを入力は、初期状態では登録されていないので「空白」でログインを行ってください。
5. スイッチのファームウェア更新を行うには、**Tools> Download Firmware** の順にクリックします。



6. 「Download Firmware」画面において、必要な情報を入力します。
 - Server IP タイプ (IPv4 もしくは IPv6) を選択し、選択した IP タイプの入力欄に TFTP サーバの IP アドレスを入力します。
 - File Name: TFTP サーバ上に保存したダウンロード済みのファームウェアファイル名を入力します
 - Image ID: ファームウェアを格納したい Image ID (1 もしくは 2) を選択します。

A screenshot of the 'Download Firmware' form in the D-Link Web-UI. The form contains the following fields: 'Server IP' with the value '10.90.90.91', 'Interface Name' (empty), 'File' with the value 'DES-3200_Series_FW_R121B006.had', and 'Image ID' with a dropdown menu showing '2'. There are radio buttons for 'IPv4' (selected) and 'IPv6'. A 'Download' button is located at the bottom right of the form.

必要な情報を入力後、「Download」ボタンをクリックしてください。

- 「Download」ボタンをクリックすると、ファームウェアのダウンロードが開始され、下記画面のように表示されます。

Download Firmware

Current Status: File transferring...

File Transfer:

Percentage 52%

Program Firmware:

Write Flash Status -

- File Transfer の値が 100%になり、Program Firmware のフィールドに”Completed”と表示されるまで待ちます。

Download Firmware

Current Status: File Transfer Success !!

File Transfer:

Percentage 100%

Program Firmware:

Write Flash Status Completed.

- 次のスイッチのリブート時にダウンロードしたファームウェアをブートアップ時に起動するファイルとして設定するために、**Configuration > Firmware Information** の順にクリックし、ファームウェアがアップロードされたことを確認します。

Firmware Information							Safeguard	
ID	Version	Size (B)	Update Time	From	User		Boot UP	Delete
*1	1.10.B017	3661644	0000/00/00 00:04:04	192.168.2.201	Anonymous(CONSO...		Boot UP	Delete
2	1.21.B006	3939564	0000/00/00 00:05:05	10.90.90.91	Anonymous(Web)		Boot UP	Delete

※は現在ブートアップファイルとして設定されている Image ID を指しています。

- 新しくアップロードしたファームウェアを次回ブートアップファイルとして設定するために、設定したい Image ID

を選択し、「Set Boot」ボタンをクリックし、ブートアップファイルを設定します。

Firmware Information							Safeguard	
ID	Version	Size (B)	Update Time	From	User			
*1	1.10.B017	3661644	0000/00/00 00:04:04	192.168.2.201	Anonymous(CONSO...	Boot UP	Delete	
2	1.21.B006	3939564	0000/00/00 00:05:05	10.90.90.91	Anonymous(Web)	Boot UP	Delete	


11. ブートアップファイルの登録が正常に終了すると、「Success!」とメッセージが表示されます。

Firmware Information

Safeguard

ID	Version	Size (B)	Update Time	From	User		
1	1.10.B017	3661644	0000/00/00 00:04:04	192.168.2.201	Anonymous(CONSO...	Boot UP	Delete
*2	1.21.B006	3939564	0000/00/00 00:05:05	10.90.90.91	Anonymous(Web)	Boot UP	Delete

Web ページからのメッセージ



Success!

OK

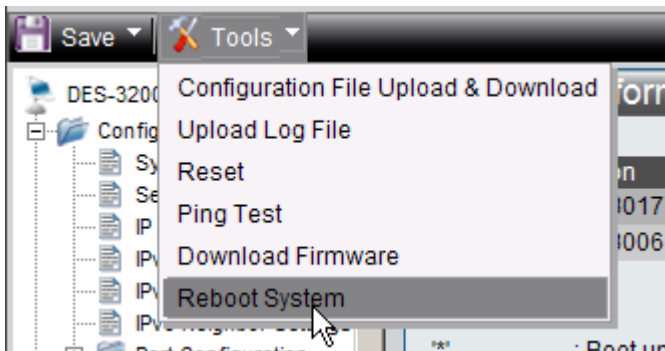
: Boot up firmware

(SSH) : Firmware update through SSH

(Web) : Firmware update through Web

※は現在ブートアップファイルとして設定されている Image ID を指しています。

12. スイッチのリブートを行なうために、Tools> Reboot System の順でクリックし、



13. 「Reboot System」画面で、「Do you want to save the settings?」で「Yes」を選択し、「Reboot」ボタンをクリックします。

Reboot System

Safeguard

Do you want to save the settings ?
☒ Yes
☐ No

Reboot

If you do not save the settings, all changes made in this session will be lost.

注意: スイッチの再起動中に、電源を切らないでください。再起動中に電源を切ると、起動に失敗し、起動できなくなることがあります。故障の原因となりますので、ご注意ください。

リブート終了後、WEB GUI のトップページに表示される Device Information において、新しいファームウェアに更新されているかを確認してください。

追加機能:

ファームウェアバージョン	追加機能
V1.21.B006	<ol style="list-style-type: none"> ループバック検知 v4.0: VLAN ベース検知/シャットダウンに対応致しました。 BPDU アタック防止に対応致しました。 MAC ベースアクセスコントロール(MBA): 認証成功後の ACL 割当に対応致しました。 Network Load Balancing(NLB)に対応致しました。 802.3ah Ethernet Link OAM に対応致しました。 802.1ag Connectivity Fault Management(CFM)に対応致しました。 イーサネットリングプロテクション(E-RPS)に対応致しました。 PPPoE Circuit ID の挿入に対応致しました。 MSTP インスタンスを 8 まで拡張致しました。 “show_switch”コマンドで本製品の稼働時間を表示するよう対応致しました。 Egress キュー毎の帯域管理に対応致しました。 DHCP オプション 12 に対応致しました。 DHCP サーバスクリーニングに対応致しました。 コマンドプロンプトを 32bytes まで拡張致しました。

MIBおよびD-Viewモジュールの変更点:

MIB ファイルの追加機能は、対応する D-View モジュールにも実装されます。

ファームウェアバージョン	MIB ファイル	追加・変更機能
V1.21.B006	des3200-10-L2mgmt.mib des3200-18-L2mgmt.mib des3200-28-L2mgmt.mib des3200-28f-L2mgmt.mib	<ol style="list-style-type: none"> ループバック検知: VLAN ベース検知/シャットダウンに対応致しました。 802.1ag Connectivity Fault Management(CFM)に対応致しました。
	BPDUProtection.mib	BPDU アタック防止に対応致しました。
	nlb.mib	Network Load Balancing(NLB)に対応致しました。
	Ie8023ah.mib	802.3ah Ethernet Link OAM に対応致しました。
	IEEE8021-CFM-MIB.mib	Connectivity Fault Management(CFM)に対応致しました。
	erps.mib	イーサネットリングプロテクション(E-RPS)に対応致しました。
	PPPoEmgmt.mib	PPPoE Circuit ID の挿入に対応致しました。
	rfc1907.mib	“show_switch”コマンドで本製品の稼働時間を表示に対応致しました。
	Qos.mib	Egress キュー毎の帯域管理に対応致しました。
	des3200-10-L3mgmt.mib des3200-18-L3mgmt.mib des3200-28-L3mgmt.mib des3200-28f-L3mgmt.mib	DHCP オプション 12 に対応致しました。
	Filter.mib	DHCP サーバスクリーニングに対応致しました。

コマンドラインインタフェースの変更点:

ファームウェアバージョン	変更点
V1.21.B006	<ol style="list-style-type: none"> “enable authorization network” から “enable authorization attributes”へ変更致しました。 “disable authorization network” から “disable authorization attributes”へ変更致しました。 “save [config log all]” から “save {config log all}”へ修正致しました。

修正した問題点:

ファームウェアバージョン	修正した問題点
V1.21.B006	<ol style="list-style-type: none"> c.tagを使用してACLカウンタを作成した場合、ACLカウンタ機能が正常に動作しない問題を修正致しました。 プロファイルの ethernet type 等の項目が同じ2つ目のプロファイルを作成用とする場合に、“A similar profile already exists with profile_id 1!”というメッセージを表示し、ACL の設定が追加できない問題を修正致しました。 x.x.254.255/16 宛に Ping を送信すると smurf 攻撃として扱われ、スイッチによって Ping パケットが破棄される問題を修正致しました。 SNMP 経由で2つの異なるコマンドで ACL プロファイルを作成した場合、一つのコマンドで作成した ACL プロファイルは正常に動作するが、残りの一つで作成された ACL プロファイルは正常に動作しない問題を修正致しました。 WEB GUI でパケットコンテンツフィルタリング ACL ルールを作成した場合、プロファイルは作成されるが、access_id が作成されない問題を修正致しました。 ISM VLAN、802.1X 及び Guest VLAN を一つのポートで有効に設定した場合、802.1X で認証済みのポートは、マルチキャストを通さない問題を修正致しました。 設定の保存を行い、スイッチをリブートさせた場合、ACL の access_id の設定が失われる問題を修正致しました。 IGMP join パケットの宛先 MAC アドレスが Join したマルチキャストグループの MAC アドレスと同一でない場合に、スイッチが不正な IGMP join パケットを破棄しない問題を修正致しました。 CLI 上にて“jumbo_frame”を「有効」に設定した場合、WEB GUI 上では“jumbo_frame”が「無効」と表示され、ジャンボフレームのステータス内容が CLI 上と WEB GUI 上で一致しない問題を修正致しました。 ACL プロファイル作成時の“Packet Content”の項目で Offset1 を Layer2、Offset を Layer3 に設定した場合、Access Profile Detail Information に表示される ACL Profile Details において offset1 が Layer3 に、Offset2 に Layer4 が表示されて、正しく設定した内容が反映されない問題を修正致しました。 “flow_meter”を設定した際に、トラフィックレートのフラッピング範囲が正確ではない問題(例: 1000kbps に設定した場合、フラッピング範囲は 494kb~1311kb までになる)を修正致しました。

既知の問題:

ファームウェアバージョン	既知の問題
V1.21.B006	特になし